

学校だより

函南町立函南中学校
10月号
平成29年10月12日発行

学校教育目標『活力にあふれ、共に高め合う生徒』

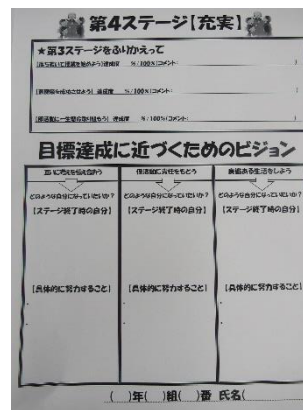
- 重点目標 (1) 将来の夢を持ち、学習に励む
(2) 自分と違う他人を知り、認め合う
(3) あいさつ、清掃、諸活動に励み、心身を鍛える

1 学期学校評価アンケートの結果から

1学期末に生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを実施しました。その結果を三者比較(生徒、保護者、教職員又は、各学年)しながら、報告します。

表1 学校目標を意識した生活をしている

	1年	2年	3年	全体
よく当てはまる	36.6%	45.3%	43.3%	41.8%
だいたい当てはまる	53.6%	40.7%	45.6%	46.6%
あまり当てはまらない	9.2%	9.3%	9.4%	9.3%
当てはまらない	0.7%	1.7%	1.7%	1.4%
無回答	0.0%	2.9%	0.0%	1.0%



新しいステージに入るときに、前ステージの振り返りと新ステージの個人目標を立てます。

表1から、学校教育目標を意識した生活を送っている生徒が多くいることが分かります。本校では1年間を5つのステージに分け、各テーマの目標を、4,5月「出会い」6,7月「挑戦」8,9月「団結」10,12月「充実」1,2,3月「感謝」と設定し、ステージごとの目標を意識して、教育活動を進めています。また、ステージの切り替えのときにステージ集会を設定し、新しいステージでの目標や取り組みを全校生徒で共有しています。

表2 楽しく学校生活を送っている

	教職員	保護者	生徒	全体
よく当てはまる	32.1%	42.2%	65.5%	46.6%
だいたい当てはまる	67.9%	51.1%	25.1%	48.0%
あまり当てはまらない	0.0%	5.1%	6.3%	3.8%
当てはまらない	0.0%	1.7%	2.0%	1.2%
無回答	0.0%	0.0%	1.2%	0.4%



↑ ハートマッスルタイムの掲示
(月に1度朝の時間に全校で実施中)

表2から、9割以上の生徒が「楽しく学校生活を送っている」ことが分かります。しかし、当てはまらないという生徒も少数います。そのような生徒に早期対応するため

に毎月、いじめアンケートを行い、実態を把握すると共に、気になる生徒には個別に声かけや相談を行っています。

また、ストレスマネジメント指導や「ハートマッスルタイム」(ポジティブ感情を高める活動)の設定、スクールカウンセラーの活用など、生徒の悩みや心に向かい合う取り組みを進めています。

表3 意欲的に学習に取り組んでいる

	教職員	保護者	生徒	全体
よく当てはまる	7.1%	15.1%	38.7%	20.3%
だいたい当てはまる	78.6%	46.9%	44.0%	56.5%
あまり当てはまらない	14.3%	29.9%	13.3%	19.2%
当てはまらない	0.0%	7.9%	2.4%	3.4%
無回答	0.0%	0.2%	1.6%	0.6%

表3から、生徒の多くは前向きに学習に取り組んでいると分かります。しかし、「よく当てはまる」と答えた生徒の数値に比べて、教職員と保護者の数値は低くなっています。今回のアンケート結果から、行事や委員会・係活動、部活動等に対する意欲や頑張りと比較すると、学習面で、以下のような課題があることがわかりました。

家庭学習に目標時間(1年生 70分/2年生 80分/3年生 90分以上)取り組むことや、家で計画的を立てて勉強したり、家庭学習ノートに積極的に取り組んだりすることが十分ではない。

宿題の取り組みも個人差があり、なかなか提出できない生徒もいます。この結果を受けて、本校では、学習面でも生徒が意欲的に取り組めるような手立てを考え進めています

【手立て1】ねらいを明確にして関わり合う場面を設定した授業づくり

表4 友達と意見交換することで考えを深めている

	1年	2年	3年	全体
よく当てはまる	41.2%	41.3%	45.0%	42.5%
だいたい当てはまる	34.6%	36.6%	43.9%	38.4%
あまり当てはまらない	19.0%	14.5%	10.0%	14.5%
当てはまらない	5.2%	4.7%	1.1%	3.7%
無回答	0.0%	2.9%	0.0%	1.0%



表4のアンケートの結果から、友達と関わり合うことで考えを深めている生徒が8割以上いることが分かります。少人数で活動することで、主体性が生まれ、考えを伝え合うことで自分の思考が深まります。このような授業を工夫することで、学習意欲の向上を目指しています。

【手立て2】家庭学習の充実をめざした「家庭学習ノート」の活用

アンケートから、昨年度と比べて家庭学習ノートが役立っていると感じている生徒がやや増えていることがわかりました。今後も継続していきたいと思えます。本年度は部活動の顧問がノートを見る強化週間も実施し、生徒の取り組みの意欲向上を図っています。家庭学習ノートはご家庭の見届けがあると生徒の励みにもなります。授業と家庭学習の両方が生徒の力となるよう、ご家庭でのご協力をお願い致します。